

2021 年 3 月 17 日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

胆道癌・膵癌の化学療法におけるサルコペニアの重要性

2. 研究責任者

海南病院 消化器内科 橋詰清孝

3. 研究の概要

筋肉量の減少と筋力低下を示すサルコペニアは、加齢だけでなく悪性腫瘍患者における予後不良因子としても注目されています。悪性腫瘍に対しての治療は外科的切除、化学療法、放射線治療など様々ですが、全身状態が不良であると治療自体が適切に行うことが難しくなります。全身状態を把握・評価する指標として骨格筋量を測定し、サルコペニアの有無を把握することは非常に重要なことと考えます。

そこで今回、当院にて化学療法を行った胆道癌・膵癌の患者さんについて治療後の骨格筋量を測定し、サルコペニアとの関連を検討することとしました。対象は2013年1月から2020年12月までに当院にて化学療法を行った胆道癌と膵癌の患者さんであり、患者背景(年齢、性別、治療内容、有害事象、生存期間)、治療前のサルコペニアの有無、骨格筋量の変化と生存期間との関係を検討することとしました。

本研究は研究対象者への不利益及び危険性はなく、後方視的評価ではありますが、今後の化学療法に有意義なものになると期待されます。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2013年1月から2020年12月までに当院にて化学療法を施行した胆道癌・膵癌の方

② 使用する試料等

残余検体：使用なし（追加検査等はいりません）

カルテ情報：外来受診や入院時の採血結果、診断時の検査方法やその結果、CT画像検査所見、年齢、性別、臨床経過といったカルテ記事記載内容を使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 消化器内科 橋詰清孝

電話：0567-65-2511（代表）